夕刊
磐城新聞
二月十日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八・五六五五番

天氣豫報（小名濱測候所發表）
今晩も明日も北西の風晴時々曇

廢墟
下
野本大藏

前面には黒味を帯びた褐色の無恰好な禿山が二つ背つてゐる。それを背にして、ひどくボロボロになつた幾棟かの長屋が横たはつてゐるのだ。

長屋の屋根はめくれてゐる。扉は外れたまゝだ。硝子のない窓は半開きになつたまゝである。それは動きのない廢屋だつた。

この石炭を掘りつくした廢坑は、そのかみの騒々しさをよそにして、烈々たる白日の下に殘骸を横たへてゐた。

『廢墟――』

『廢墟だ――』

私達は厳粛な氣持になつて、暫く佇んだ。

そこには人の息吹きも、皮膚の臭みも感じられなかつた。

然し私はあの長屋の露路から、茶褐色の髪をした半裸體の少女が、今にも何かわめき乍ら出て來さうな氣がした。半開きの窓からはその體力以上の烈しい勞働の爲に全精力を出し盡して了つた老婆が、何かの拍子に灰色の顔をのぞかせ、さびた金屬的な聲をあげて、カラカラと笑ひ相な氣がした。

突然、その死せる風景は私の眼近かにぐうんと迫つた。と、次の瞬間、引かれるやうに遠のいた。私は意識を失ひ乍ら、なぜか油蝉の鳴き聲をハッキリときいた。（野麥第四輯所載）

批評
高橋衆吉

詩界に呈する僕の批評は恐らく歡迎されぬ苦しいものであらうと信ずる、甘やかされた讃辭の前に恍惚さするよりも皮肉な毒舌に少しでも自己を凝視め得るならば幸なりと思ふ。

近代詩人の詩的概念は固定的な頭腦で、狹い生活感情を小さく纏めることによつて一つの詩を完成し得ると信じてゐる。その都度、小さい感覺で、小さい感情詩を歌ふ所に、近代詩人の感情生活の一小部分を摘抉して歌ふ所に、近代詩人の通有性を認め得る。これは甚だ間違つた考へだ、詩の根本に還元される時、詩は自己の生活圏を鋭く凝視めてそこに思想的息吹きを吹き込んだ時、初めて詩人としての生命が詩に脈うつものである。

東北詩壇の詩は一般に小さく纏まりかけてゐる。どれもこれも自己の生活態度がはつきりしてゐない。その場限りのものが多い様に見受られるのは残念だ。

2月11日
△徳川慶喜上野大慈院に罪を待つ（明治元）△帝國憲法發布（明治二二）△金鵄勲章創設（同二三）

2月12日
△東京の金銀座を廢す（明治二）△諸道の關門を廢す（同）△大本教不敬事件起る（大正一〇）△永田事件の公判突如公開を禁止（昭和一一）△本年度新學士院恩賜賞受賞者決定（同一二）

聞高木中尉創癒再向戰線
孫蛍　小野務平

猶盤寬期掃勁兵
恩劍何耐在塞營
武神有護回春速
今日欣然又遠征

千人針由來（一）
東　國愁

日本が外國と戰爭が起ると、國を擧げて、老若幼年を問はず、婦女子が街頭に立ち、道行く婦女子を捉へては、謂ゆる『千人針』と稱する物を作る爲に三四尺の白布或は黄布に赤糸を以て指定の點所に縫ひ出して貰ひ、それが全部出來上ると、宛も刺繍の細かい赤絲の如く見える。詰り其の布面には、千人の異る女子に依つて縫ひ取つたもので無くしなければ其の出征兵士におくつた所で、防彈にもならなければ、大にしては皇軍の戰捷者仲間に這入れないと信じ、或る戰時的一種の悲壯な感情をこめた祈願品だ。但し寅年生れの女子に逢ふと右の例外で、即ち其の者の年齢の數だけ其の布に縫ひ納めることが出來るから甚だ能率が上る。更に又ゴツの寅年生の婦女子に會へば、一人で千人分の縫ひ出しが出來るから、若し其の者さへ見附けて、依頼すると、敢へて街路に立つて往き來の心なき女子に頭を何べんも下げて、氣羞じく頼まなくても、僅か良か半日に仕上るわけだ

講談　悲戀　髑髏組（どくろぐみ）
（112）林杢兵衛作　金子士郎畫
運命（七）

『ところが、兵藤が殺られた時にやア、直ぐ判つたんで御座んすよ親分』

『ふーむ、流石は矢の倉の茂十だ。どうして氣がついたんだ！』

『兵藤が遺言を持つてたそうで御座んすよ』

『そんな筈はない、覺悟の遺言も、裏切の訴狀も懐中してゐたが、それは刺し殺してから全部調べて一つも殘らず取り上げて來た。だから、あの死體を檢めても俺達と關係があると見るべき何んの證據もない筈だ』

『ところがそれが、大ありなんで御座んすよ親分、兵藤の左の腕にねえ、なか〳〵あの野郎もぬかりがねえんで御座んして、遺言の文句を刺青にしておいたんですつて――』

『失敗つた、なる程あの腕の綱帶はそのためであつたのか、氣が附けば切り落して持ち歸るところだつたに殘念だつた。うーむ、さうであつたかさうとすればもう此の江戸にも長くは居られんわい』

『なアに、そんな心配は要りませんよ親分、[illegible]ましても、自分[illegible]されるだけで隱密家まで數へてあつた譯ちやねえで御座んすからね』

『隱れ家、並びに一味の連名は懐中してゐた訴狀に詳しく認めてあつた。思へば本當に危ないところであつた』

『あつし共の名前まで御座んすかい？親分――』

覗き込むやうにして訊く勘太の心細さうな顔。

『あつたとも、矢の倉の勘コロ怨籠屋事、勘太と小六は怨籠屋渡世は表向き、毎日同町の御用聞き、矢の倉茂十方へ出入りして、其日々々の警戒網を窃に内通してゐたものである――と書いてあつた、捕まればお前達が一番重いお咎めだ』

故意と戯ふ權十郎。さうとも知らずに勘太と小六は龜のやうに首をすつこめた。それからと云ふものは、身體中が、どことなく惡寒くして七草の酒の醉ひも一向に廻らない。

丁度その頃、矢の倉茂十の家へ、珍らしく、神明町の源七が訪れた、二人が會ふのは、例の本石町の事件以來で、まつたく久し振りである。

年頭の挨拶を皮切りに、來けからものゝ二刻あまり、話はどうせ髑髏組の外にはない筈だが、どう相談が纏まつたものか、あとは時折笑ひ聲の交る雑談だ。

折柄表の格子戸が開いて『親分、今日御用は？』と首を突き出したのは、勘コロ部屋だ。

『おゝ勘コロ屋か、丁度いゝ處だ、けふは七草、何も縁喜だから、まア上つて一杯やりな』

近頃に見られない上機嫌の茂十である。

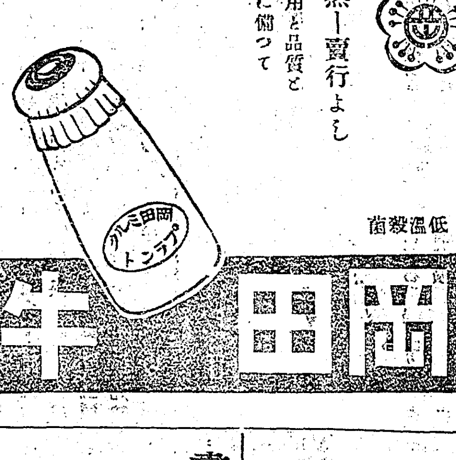
『へえ、有難う御座んす。いつも頂戴するばかりで御座んして』

『まいゝ、けふは別に用もねえんだから、一杯やつて歸るがいゝぢやねえか、おツ、誰か居ねえか、勘コロ屋に景氣よく一杯注いでやつてくんな』

『そ、そうで御座んすかい、ちやア勘太遠慮なしによばれて行かうか、おツと、來やした〳〵、有難う御座んす、ちやア親分、遠慮なしに――』

と、云ひながら、ちよつぴり口をつけて五郎茶碗を敷居に置いた小六。

『へツへ誠に結構な御酒で御座んして、あつし共が口には勿體なう御座んすよ、ところで親分、あすはどんな具合で――』

低温殺菌

斷然―賣行よし
信用と品質と共に備つて
岡田牛乳
平市鎌田町　電話五一番

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六番地　電一七〇番
（入院隨意　病室完備）

旅館　大平館
東京上野驛前　下谷郵便局横通角
私は平市出身ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄
電話下谷（83）六七七七番

平みやげ米やの最中
尚一層風味と品質を吟味致しまして御客様を御待ち致して居ります。
平市五丁目
米屋最中專門店
電話（呼）二九〇番
ソセイナンショー散　南洋蘇製社平代理店

パーマネントウエーブは御得意様への御禮に！
今や世界的流行であります
お値段　四圓…全部　三圓…普通（當院パーマネント部の一部）
水野化粧院
水野冬子　平市驛前　電六七八番　自宅　電五二五番

晝夜診療
外科一般　内臓外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
〔血液檢査毎日〕平市新川町〔電四六四〕
イツデモ入院デキマス
醫學博士　北川芳夫
技師　三浦常保

電話開設
電話一二九番
平市南町谷口横町
果實　促成野菜　雜貨
齊藤商店

文部大臣認可
平陽女學校
平市揺槌小路二十番地
電話四四五番　振替口座仙臺五六八二番

入學生募集人員
本科（修業年限二ケ年）五〇名
技藝科（修業年限一ケ年）五〇名
專攻科（修業年限一ケ年）二〇名
各科一年補欠入學生若干名
課外教授
本校生徒ハ希望ニ依リ左記科目ノ習得ガ出來マス
タイプライター　將來職業婦人タラントスルモノ
琴、生花　家庭婦人トシテノ準備
ピアノ　音樂研究ヲ志スモノ
洋裁　洋服裁縫ヲ研究セントスルモノ
『タイプライター』修得者ハ本校ニ於テ就職ヲ斡旋致シマス

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
十二封度レール、トロ車輪付屬附
鐵工工具品　新品着荷致しました
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵　機械
KS 井尻七三郎商店
福島縣平市鍛冶町十一　電話五二二番
荷受場　平市鍛冶町廿三番地
倉庫　平市鍛冶町九番地
御買上品は精々御安く納品致します
御拂下品は精々御高値に買受ます

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社石油特約店
關彰商店平支店
福島縣平市支店二丁目（電話六十一番）
本店　茨城縣下館町　電話五五、三三九番
支店　茨城縣土浦町田宿　電話六五三番
茨城縣久慈町　電話一三七番
茨城縣多賀郡関本驛前（電大津一四七番）
福島縣四倉驛前（電平潟五四番）
福島縣小名濱町　電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名港）
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所　電話八二四番）

平市三丁目
上總屋商店
電話七三一番

東北の銘釀
特撰　銘酒　巖山[?]

磐城の御みやげ品
名物　靈峰（みやま）羊羹（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山（みやま）羊羹
同　し濱……のり羊羹
同　豐間……辨天羊羹
◎各種　一本　十錢
製造發賣元　小川郷驛前　平屋賣店

幾ら自分の家屋でも 勝手には變更出來ぬ

平市に建築物法適用上 縣の細目許可さる

今月一日より平市一圓及び好間村の一部(常磐線以東)に對する市街地建築物法の適用は去月中内務省から告示されたので右實施に關し縣から取扱上の細目に就き申請中の處愈よ去る六日付を以て許可されたが市街地建築物は保安、衞生、交通並美觀等都市の形態を整備する爲都市建築物の規準を示し以て都市に起るあらゆる災害を出來得る限り尠くし更に市民の健康保持と福利增進を圖るを目的とするもので其爲に地域とか建築物の構造を制限し以て保安、衞生其他の點より遺憾なきを期さうとするに在り今度平市に實施せられたる市街地建築物法は福島、郡山各都市と同一適用にて法、施行令、施行規定の全規定の適用であり、非常に嚴重な規定が適用せられたゞ住宅店舗等には一部緩和せられて居るが左に掲ぐる用途に供する建築物の新築、增築改築、移轉、大修繕又は大變更をなさんとする時には總て知事の認可を受けねばならぬ

工場　家屋及寄宿舍の類　勸工場及百貨店の類　學校及圖書館の類　自動車庫、營業用浴場及遊技場　料理屋、カフェー及飲食店(面積百平方メートル以下のものを除く)　畜舍及家畜市場　診療所　牛乳搾取所、牛乳處理場　牛乳販賣所　理髮營業所　及食肉營業所　市場　建築面積六百六十平方米以上木造建築物　床面積千平方米以上木造建築物

制服姿も謹嚴に 傷兵慰問の旅へ

平青年團で派遣

輝く武勳を白衣に包み再起を望んでゐる戰傷の兵隊さん達は各方面からの慰問に心から感泣してゐる、平青年團でもこれらの鄕土勇士に慰問使を派遣することゝなり過般來市内各團から希望者を募つてゐたが此程選り、若松へは十二、三の兩日四名、仙臺へは十三日三名、更に東京へも同樣派遣慰問文や慰問の品々を贈る

本縣代表 大友四段

平第三小學校訓導劔道四段大友能一氏は明建國祭當日仙台武德殿に擧行される第二師團司令部主催福島、宮城、新潟三縣對抗劍道大會の本縣代表に選ばれた

基礎彌々確實 湯本無盡の躍進

平會場の新築落成

十二年(第三十期)末現在に於て約五百五十萬圓の口數一萬千八百五口の多數契約と六十萬圓の貸付金を有する湯本信用無盡株式會社では、本支店出張所を通じ百二十名の社員により目覺しき社業の伸展を示しつつ、從來の磐三郡及び郡山附近等から昨年末には福島、伊達、信夫の一市三郡を新に營業區域として認可され目下建設中の福島出張所は來月初め頃から營業を開始する手筈となつて大に伊達地方での活躍を期待されてゐるが、之れより先る事業の擴張から狹隘を感じて從來の田町から移轉すべく紺屋町に新築中であつた平會場が此程愈よ完成明後十二日を期し、住吉屋本店に地方有志多數を招き時節柄簡楚乍ら盛んな落成披露宴を催し、之を轉機に新陣容を整へ更た一段の發展を期する事となつた

(寫眞は新裝成れる平會場)

便利な―金融親切な會社

非常時に即應 各方面に好評湧く

同社は創業以來茲に十五年、社礎彌々固く、益々事業に精進し、所謂"無盡報國"をモットーとして地方金融界に貢獻し、當期初頭に於て樹立した五ケ年計劃により、事變下に拘らず總てが順調に豫期の成績を擧げてゐるが、昨夏事變突發以來、出征會員及び出征者遺家族等に對し夫々金融の道を講じた時局對策に便利な金融、親切な會社として各方面の絶讚を博し、常に最大を欲せず最良を望んでゐる堅實な同社の方針か一層業績の躍進に拍車しつつある形である

覗ひ處は

横の金融

無盡の特色を發揮

斯くして同社は現代金融機構の欠陥たる縱の金融を排し、無盡金融の特色たる横の金融を發揮し、只管初一念の貫徹に邁進しつゝあり、その如何に確實な進程を辿りつゝあるかは同社當期の集金状況が當期々限到達高七十九萬八千四百圓に對し、拂金高七十九萬四千二百圓で殆ど百%の入金比率を示しつゝある一事に徴しても明瞭なるものがある

條件を緩和

圓滿な金融運行

同社では無盡金を給付する外に、無盡を擔保として盛んに貸付を行つて居るが今期は特に事變下に於ける金融の圓滑を期する爲、貸付條件を緩和して大に地方金融の圓滿なる運行に努力した。

(千圓)

前期末貸付高	四五〇
今期貸付高	六二四
今期回收高	五二三
今期末貸付高	五五一

重役顏ぶれ

取締役社長鈴木康平、常務取締役比佐賢司、取締役鈴木重助、同若松忠兵衞、同喜多孝平、監査役猪狩富一郎、同小野泰之助

陣中を聽く

―(85)―

激戰を如實に物語る 上陸直後の第一印象

平青年學校教諭 大越久五郎君(通信)

──海上無事に初日の光を揚子江上船中に於て拜す。翌二日南京の對岸〇江上陸、大陸への第一步を踏み出した。附近一帶家と云ふ家爆、火災、彈痕等完全なるもの一としてなく如何に戰闘の猛烈なりしかを如實に物語る。又至る處死屍壘々酸鼻を極む。行く行く敵機の襲擊に遇ふも友軍〇〇砲の猛射、友軍機の追擊により遠く北方に擊退せるも一時は膽を冷した。飛行機の怖ろしい事は支那兵はかりでない。途中敗殘兵の隻影を認めず、只砲聲を時々東北方に聞く。我が進軍部隊を望み蒼かうとして逃げ惑ふ支那民衆、憐れにも亦おかし

目下南京の西北約十五里〇〇に在り警備に當る、人口約三萬、電燈無く、水道なく、支那獨特の陰鬱な町にて縣廳所在地とも思はれず(略)

本日衞兵司令となり東門西門に立哨!警戒の任に當る、只今午前二時上絃の月既に西丘に沒し寒氣猛烈として身に迫る、故鄕を憶ひ布團の上に寢たいと思つて見た

一月十日

無事歸還を疑ふ 決意の程を仄かす

內鄕村出身 大越美身君

──本月十四日順德に來て今順德東方一里の〇〇〇と云ふ部落に滯在して居る此の前方は臨淮の城內に約一ケ月居た、臨淮と云ふ處は圖によつても分る通り平漢鐵路より約三十里離れて居る處で糧食の補充にさへ苦勞して居る處で內地の樣であれば三四十里は何でも無いが、敵地の眞つ只中を三十里もある處を〇や〇〇の兵士で步くと云ふ事は非常に危險なのだ。勿論兵站部や野戰郵便局は鐵道幹線を離れて設置されない

昨日我々に慰問袋が一個宛配給されたが出征以來初めてのものだ(略)今日當部隊に〇〇、〇〇兩〇方面の〇〇が多く來り、今我々の〇〇も多分之等の〇〇だと思つてゐる。我々の凱旋も程遠い事だらうし、又無事で歸る事か?だから閑暇があつたら白水の父や家の者を慰問して貰ひ度い

(一月十九日)

被害ザツと十四萬圓

債券魔 横山の調べ進む

債券魔横山久(三六)は引續き平署に留置のまゝ、關係者と共に嚴重な追究を受けて居り取調べの進むと共に巧妙な債券詐欺の罪惡裏が曝け出して係官を呆然たらしめてゐる、被害は同署管內の十萬圓を始め原町署管內三萬圓、茨城方面で一萬圓、合計實に十四萬圓の巨額に上り、今更ながら被害者百六十餘名を泣かしてゐる、次はその挿話二、三──

水鄕潮來へ

遊び廻つた横山

投機に失敗した横山は花柳街にも多大の金をばらまいてゐた每日のやうに市內新田町の遊里に足を踏み入れては某々鐵枝に浮身をやつして大童遊びをし、遠く水鄕潮來出島にまで押しかけて遊び廻つてゐた、同署ではこの方面へも參考訴問を行ふ筈である

松本氏當選

平窪信組長決る

平窪信用販賣利用購買組合は九日午後一時から理事會を開き組合長を互選の結果松本德一氏當選、專務理事に前平窪收入役鈴木忠五郎氏が就任

賠償訴訟 口頭辯論

水道鐵管 泥橫田父子らを相手取つて平市から提起した九百九十九圓餘の損害賠償訴訟は既に四回の辯論を行つたが更に第五回目を來る二十四日午前九時から開くことになつた

在りし日を偲び 滿堂聲を呑む

吉田入山所長の社葬終る

吉田入山坑務所長の葬儀は豫報の如く愈よ今十日正午自宅棺前に於て讀經、一時靈位を齋場に移し二時開儀導師同町惣善寺住職森文雄師以下各宗十三名の僧職により式を進め、終つて島岡社長、渡邊專務、大賀副所長(坑務所代表)大越技術部長(職員代表)松田在鄕軍人分會長、松繁自治會長、島山大倉會社重役、石川湯本町長、中村仙台礦山監督局長、遠沼縣議其他多數の弔辭朗讀及び弔電披露あり、遺族、親戚、重役、職員、從業員代表、各炭礦代表、一般會葬者の順序で燒香全堂嗚咽の裡に三時半式を閉ぢたが會葬者頗る多數、德望高き名所長の終焉を飾るに相應しい盛儀であつた

相次ぐ哀話の數々

草野村絹谷農新渠國助(四六)さんはとても投機が好きなので遺產も親戚の名儀になつて相續出來ないでゐたが横山の仕事をきいて乘氣になり、親族會議迄開かせて「これはいゝ儲け口なんだ」と一同を說き伏せ結局國助の甥小島幾助(四六)が平市の横山方を訪れて調査!たところ「なるほどいゝ仕事だ」となつて親族會議でもこれを認め、手を出させたのが失敗のもと、國助は遂に大枚二千圓もしぼられて、いまは一文無しで路頭に迷ふ始末、それに義助まで田畑を賣つて手を出しその被害約千八百圓に上つてゐるといふ

更に好間村鈴木モン(七〇)さんは投資約一萬圓、これは一家總出、炭礦稼ぎをして蓄へた粒々辛苦の結晶だけにとり分け哀れである

この外被害は市內長橋川今朝治さんの二萬圓、某醫學博士が二、三千圓彼の魔手にひつかゝつてゐる

二百圓獻金

好間の山野邊氏

好間村日曹小田礦業所山野邊覺氏は昨九日同村役場を通じ國防並に陸軍恤血金として各百圓を寄附した

中堅講習始る

石城中堅農民講習生の長期農事傳習會は昨九日より來月六日迄平國体事務所に開かれるが講師は縣農務課古賀技師、縣產業組合中西主事外數氏

。。。平窪青年映畫會。。。

平市中平窪青年團では十日午前七時から第四小學校に出征兵遺家族慰安並に國防獻金募集の映畫會

。。。白衣勇士通過。。。

第一線に活躍中名譽の戰傷を負ふた白衣の勇士七十名は今十日午後一時五十八分平驛發下り列車で通過した

十三日例會

若松平商敎諭講演

十三日例會は來る當日午後六時半から市內マルドモホールに於て開催、平商敎諭若松千秋氏の『戰國經濟現段階と統制經濟に就て』なる講演ある筈

工場協會發會

十二日小名濱で

工場法の適用に從る小名濱江名兩町內の工場約四十を一丸とする小名濱工場協會は十二日小名濱町中島料亭新米に於いて發會式を擧行本縣工場協會より忽那工課長並に管野監督官補が臨席する筈

軍人家族に縫製作業

平市では軍人遺家族の授產事業として縫製作業を斡旋、八日第三回分として作業品が列着したので直に希望者に配分

。。。農產品評授賞式。。。

草野、大浦、四倉、大野の農產品評會入賞六十點に對する賞狀授與式を今十日草野村公會堂で擧行

舊正月十二日 金曜 甲戌 赤口 成 牛宿 新二月十一日

諸判定敬冊 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神宮館

▲一白 行動ににぶり勝ちなる日 世話事移轉新築等凶▲二黑 內に在りて平和を主とするが尤も安全なり▲三碧 人を輕んずる時は口ぜつ爭論を招くことあり▲四綠 初めは運氣弱けれども次第に吉となるべし▲五黃 多少の支障はあれどたゆまず勵めば吉となる▲六白 心を高くけつに外に對して寬大なれば吉となる▲七赤 己がほつする所に近々と近付き來るよろこびの日▲八白 我意を通さんとすればてきを求む人言に從へ▲九紫 遲々たる運氣の次第にのび行く樂しみあり

十一日(小名濱潮汐豫報) 滿潮 前― 後〇、三〇 干潮 前― 後九、〇〇

十二日 滿潮 前四、三〇 後一、五五 干潮 前八、五〇 後九、五五

舊正月十三日 土曜 乙亥 先勝 收 女宿 新二月十二日

▲一白 次第に順調の日なれど金錢交渉面白からず▲二黑 何事も面白く順よく運び行く日常業尤も吉▲三碧 內を勵めば外自から順に走るべし失物注意▲四綠 過分の望み起さず常業を勵めば幾度あり▲五黃 小事を以てきよ利を得る日移轉動土等も吉し▲六白 横道に走りて失敗しあき日萬事手控が安全▲七赤 運氣可ならず進むも退くも不自由を感ずる日▲八白 樂遂する日氣心のゆるまぬ樣一致して勵べし▲九紫 事業の扱ていに動えうな來す日しん重にありませよ

近眼老眼亂視眼用
メガネ澤山取揃つて御座居ます。
是非一度御來店下さい
各眼科處方調製
正確と勉强の店
玉屋眼鏡店
平市二丁目

皇軍を慰問しませう
慰問袋に……
鄕土色滿點の
「潮の華」
慰問品に限り勉强致します。
電話六六八
平五 泉屋菓子舖

外科、內臟外科
エツキス光線科
……新設……
產婦人科
院長 安齊徹
醫學士 黑澤廣
平市田町
入院隨意 安齊醫院
電話四七五番

銃後の皆樣におすゝめする
(糸イラズ)
綿布、綿糸、暴騰の折柄古き破れたる足袋、靴下、メリヤス、ジャケツ、其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひろく國家の經濟は莫大なものとなりませう。男子の方や御子樣方でも容易に條綴出來ましても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい。
(定價二十錢 三十錢)
平市古鍛冶町一〇(縣社下)
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

連鎖店にあり
東西會社の新商品
石鹼 齒刷子 齒磨
良い電球は ※……※ 眼の護り
國產 トウランプ